



就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ライフ	事業所番号	1212500365
住 所	千葉県我孫子市湖北台1-12-18	管理者名	佐藤 由美子
電話番号	04-7196-7782	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：ライフ</p> <p>実施日程：令和6年1月～令和6年3月</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 話の伝え方や勤怠について</p> <p>利用者数 4名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>社会人としてどのように話をしたら相手に伝わるか、理解を してもらえるかということ学ぶ。 急に仕事を休まなければならない時、なぜ連絡が必要なのか 社会人としての基本的なルールを学ぶ。</p>	
<p><成果></p> <p>普段、駅から事業所まで歩き慣れている道でも「わかりやすく伝える」ということは難しい様子だったが、ロールプレイングを通じて相手にイメージしやすく伝えるために目印などを伝えつつ道案内すると、非常にスムーズに道案内ができた。連絡の仕方は部署や立場などにより異なるものだ気づいた様子で、今後も活用していこうという意気込みを感じられた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>・連携した結果に対する意見または評価</p> <p>一般就労を目指して、社会人としてどのようなことを身に着けなければならないのかということを理解していた様子でした。</p> <p>・今後の連携強化に向けた課題</p> <p>一般就労をするということは社会人として最低限のマナーを覚えることが大切なので、定期的な研修やロールプレイングが必要だと感じました。</p>	
連携先企業（担当者）	株式会社Hand Aid（高木様）

利用者からの意見・評価

<p>・Gさん</p> <p>電話の言葉だけの道案内では細かい情報を教えつつ分かりやすい言葉で伝えることが大切だとわかった。相手の立場に寄り添った話し方で会話をすれば問題なく用事を済ませやすくなったと思った。</p>
<p>・Nさん</p> <p>職場への緊急連絡ロープレを行うにあたり過去の実体験に基づいて望んでみましたが、仮想とはいえ状況の報告をスムーズに行うことは難しく、言葉がうまく出ない場面が多数ありました。</p>